

4-1-10-5 産科

1. 概要、特色

1.1 産科概要

周産期診療部産科は high risk 妊娠を中心に診療を行っている。当センターを受診する場合は基本的には紹介状を必要とするが、紹介のない low risk 妊婦も可能な限り受け入れている。ナショナルセンターの使命の一つとして他の病院で受け入れが困難な疾患の管理およびガイドラインの作成に寄与し、同時に情報発信を行うよう心がけている。当センターでの分娩は6つのLDR室で行っているが、分娩に際し、産科医、助産師に加え必ず新生児科医が立ち会い、(無痛分娩症例は麻酔科が立ち会い)より安全な分娩を目指している。

合併症妊娠、胎児疾患等他の診療科との連携が必要な場合は症例ごとにカンファレンスを行い最適な管理法を検討しチーム医療を行っており、現在たいへんうまく機能している。

周産期管理においては最先端の検査、治療を積極的に取り入れるとともに情報発信を行うことが我々の使命と考えている。

1.2 症例検討、レジデント教育

毎週金曜日には周産期カンファレンスを行い症例検討を行うとともにレジデント教育を行っている。また、第二、第四金曜日に合併症妊娠カンファレンスを同時に開催している。第二、第四月曜日には早朝カンファレンスがあり、抄読や妊娠管理法などを中心にディスカッションしレジデントの勉強の場としている。どのカンファレンスも参加自由であり、関連各科の先生に参加いただき意見を交換し、最新の知識を得ることが可能となっている。

1.3 妊婦教育およびアメニティー

当センターは夫立ち会い分娩を行っており、通常の母親クラスに加え立ち会い希望の方のための両親クラスを開設している。また、アメニティー向上をはかるためマタニティーコンサートを行っているが本年度は7月7日七夕コンサートを行い参加した妊婦さんに好評であった。

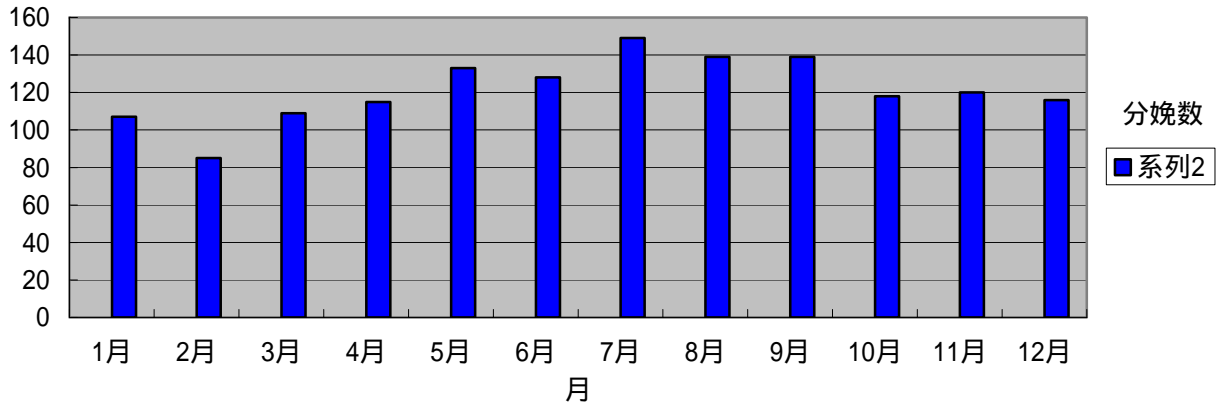
2. 診療活動、研究活動

2.1 産科臨床統計

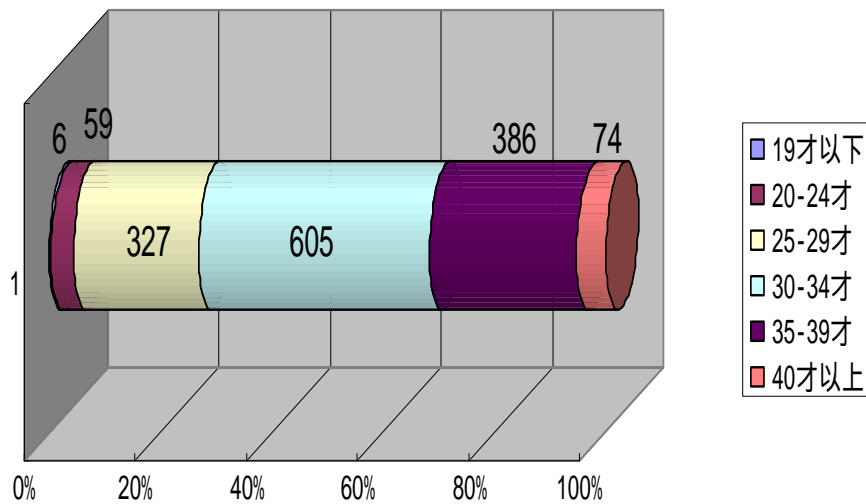
月別分娩数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10	11	12	計
2002年			53	62	67	87	88	83	92	95	100	111	838
2003年	107	85	109	115	133	128	149	139	139	118	120	116	1458

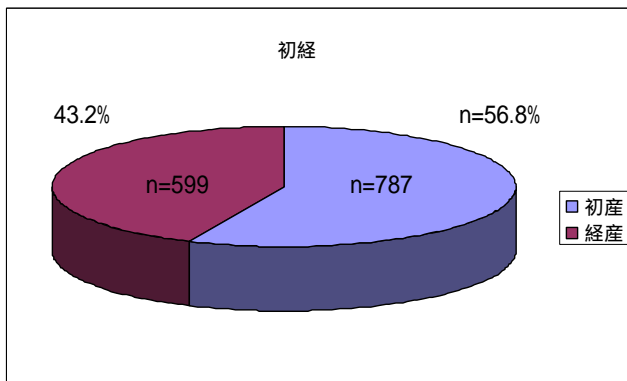
分娩数(2003年)



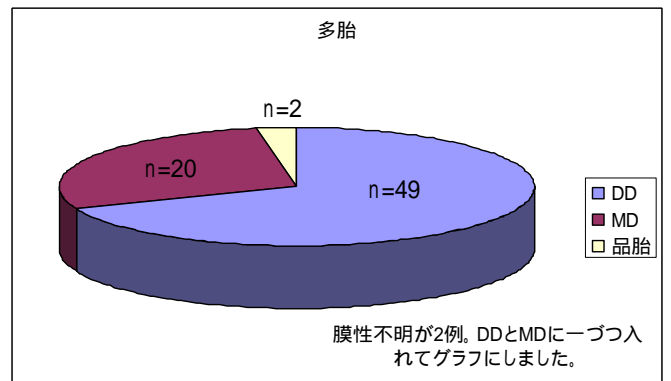
母体年齢

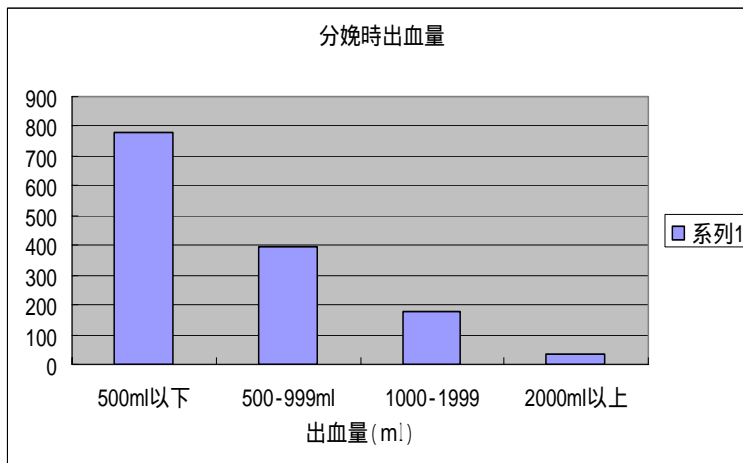
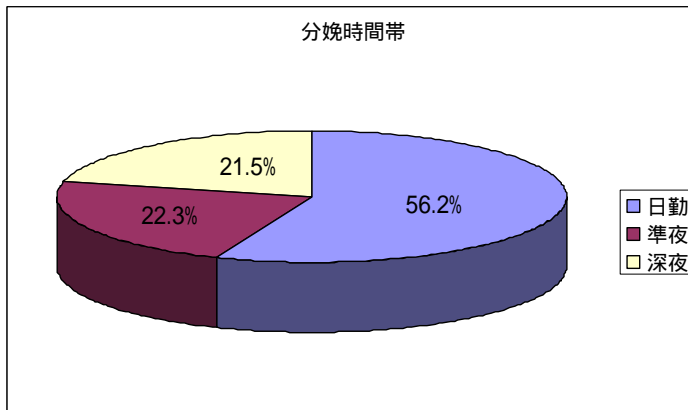
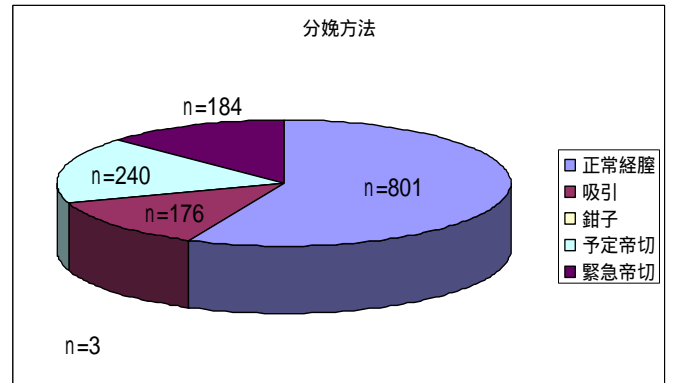
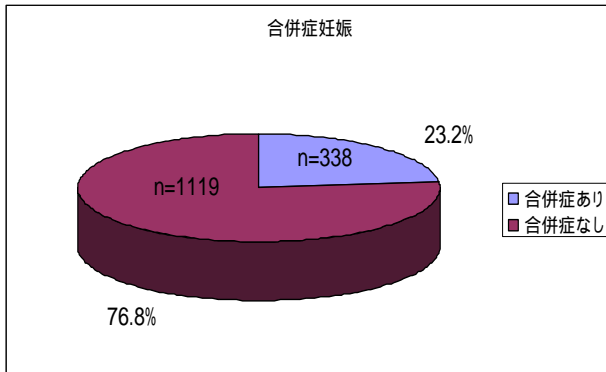


初産



多胎





分娩週数別児の予後

分娩週数	出産数	死産数	生産数
22 週未満	0	25	25
22-23週	1	2	3

24-27 週	17	2	19
28-31 週	35	5	40
32-36 週	145	4	149
37-41 週	1211	4	1215
42 週以降	6	0	6
計	1415	42	1457

出生体重別児の予後

出産時体重	生産数	死産数	出産数
499g 以下	2	31	33
500-999g	23	3	26
1000-1499g	27	2	29
1500-1999g	60	2	62
2000-2499g	164	0	164
2500-2999g	532	4	536
3000-3999g	600	0	600
4000g 以上	7	0	7
計	1415	42	1457